

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 公益財団法人愛知水と緑の公社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 日光川上流・五条川右岸・日光川下流事業所 山崎恵子 安藤亜季
代表者氏名 下水道部長 水野正幸	【0587-36-8102 Fax : 0587-36-8108 g-nj@aichi-mizutomidori.or.jp 】
部門名 (1) 行政部門	事例名 受験生応援企画：マンホールDEゲン担ぎ！

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

平成30年1月13日（土）から3月18日（日）まで
メタウォーター下水道科学館あいちにて
“受験生応援企画：マンホールDEゲン担ぎ！”を開催した。

①「マンホールが落ちない仕組み」のパネル&模型展示

パネルにはマンホールの役割を解説し、丸、三角、四角のマンホールおよび蓋を製作・展示し丸いマンホールの蓋が「落ちない」ことを体験してもらった。



図1) パネル展示

また、新しくデザインされた愛知県流域下水道マンホール蓋を職員がハレパネとゴムシートで凹凸が出るよう忠実に作成し、展示した。

②ゲン担ぎスポット

落ちないマンホール蓋であることに加え、愛知県のマンホール蓋はコノハズクとかきつばたがデザインされ縁起が良いことから、ゲン担ぎスポットとして人気となった。



図2) 模型展示

③願掛けの壁

直径10センチのピンクのシールに願いを書いて貼れる壁を設置した。来場者の多くの願いで壁一面をピンク色に染めてもらうことができた。



図3) ゲン担ぎスポットと模型

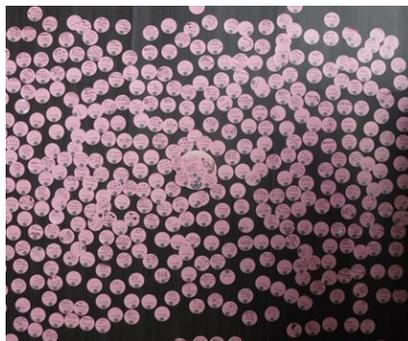


図4) 願掛けの壁



図5) 新聞掲載状況(中日新聞)

エントリー事例の特徴

- ・マンホールで受験生を応援する**体験型イベントは、他にない新しい企画**です。
- ・メタウォーター下水道科学館あいちの来館者は、小学生以下およびその保護者が多く、中学生・高校生の来館者が少ない。また、冬季は寒く来館者が減少する時期である。そこで、受験期中の中学生やその親族の方々を対象としたイベントを企画することにより、科学館の1～3月の来館者が前年度より約4,500人増で**約3割アップ**した。
- ・ラジオや新聞による宣伝効果や、来場者の方のSNS等での情報発信により、一般の方々のゲン担ぎや願掛けについての関心は強いと感じた。ラジオ局2局、新聞社4社、TV局2局（地元ケーブルTV、中国地方のTV局）
- ・アンケート結果より、他の展示を見て、下水道についての理解も得られた。

付属資料の提出

あり ・ なし （どちらかに○）